

ホーチミン市のハイテクプロジェクトと投資誘致の進展

2025 年 2 月 5 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ホーチミン市のハイテクプロジェクトと投資誘致の進展

国内外の大手企業らは、ホーチミン市へハイテクプロジェクトを提案している。2024 年 12 月初旬、ベトナム政府は米国の NVIDIA 社と AI および AI データに関する研究センターを設立する協定を締結した。

NVIDIA 社は特にホーチミン市に注目しており、今年初めから 2 回の調査団が訪問している。サイゴンハイテクパークでは、2024 年に 696 百万ドルの外国投資を含む 7 つのプロジェクトが着工される予定である。その中でも関心を集めているのは、ハイテクパーク内の T4-3 区画にあるデータセンターであり、7 つの投資家が関心を示している。

AMD のマイケル・フェルナンデス氏は、ホーチミン市との協力を希望し、AI 技術を教育機関に導入する意向を示している。また、タンフーチュン工業団地では、Saigontel 社がデータセンター建設を提案し、Viettel が 6,500 ラックの容量を持つデータセンターを建設中である。

製造プロジェクトでは、Smart Tech グループベトナムが電力貯蔵用バッテリー工場の建設を提案しており、総投資額は 5 億 5 千万ドルから 8 億 5 千万ドルと見込まれている。このような背景から、ホーチミン市は半導体産業や自動化、AI 技術など特定のハイテク分野への投資誘致戦略を強化している。2024 年にはハイテクパーク内で約 200 億ドル相当の製品が生産される見込みであり、前年比で 18% の増加が期待されている。

2025 年には 12 件以上のプロジェクトが着工される予定であり、総投資額は 10 億ドルを超えるとされている。ホーチミン市は企業の投資ニーズに応えるため、ハイテク分野への誘致方針に基づく工業団地の転換計画も進めている。

以上